

つながる・つなぐ

麻生田小だより No.12

令和7年3月3日

文責 校長：阪本 雅弘

【教育指針】礼・学・体

【校訓】かしこく 強く 美しく

【教育目標】いつまでも続く未来を創るために、自ら考動する子どもの育成

【学校経営スローガン】「子ども一人一人が輝き、笑顔があふれ、毎日来なくなる学校」



学校指定物品及び校則見直し検討委員会

「麻生田小のくらし」で子どもたちが過ごしやすい学校に

2月6日に、学校評議員の秋吉様、牧様、PTA代表村岡様、5、6年代表児童4人、生徒指導担当、特別活動主任、5、6年学年主任のメンバーで、学校の物品やきまりについて検討委員会を行いました。2月10日にすぐる配信、プリントでも配付しています。学校ホームページにも掲載しております。毎年、子どもたち、保護者の方の一部から「知らなかった」というお声がありますので、ご確認をお願いしたいと思えます。令和6年度は、変更点はありません。児童、保護者の方々からのアンケート回答の結果、

学校指定物品について			麻生田小のくらしについて	
体操服について	今のままでよい	88%	今のままでよい	90%
水着	今のままでよい	89%		
上履き	今のままでよい	96%		
標準服	今のままでよい	87%		

子どもたちからの要望として、①高学年はシャーペンを使ってもよい、②体育服のズボンで生活してもよい、③運動しているときはシャツを入れなくてもよい、④くしを持ってきてもよい の4つが出ました。

これらのごことについて、児童の企画委員会、代表委員会で子どもたちからの意見として、①保護者の人も意見も聞いてみる。実際、今年度高学年でシャーペン使用のきまりを作って「お試し期間」で試行しましたが、「シャーペン芯を持ってこない」と子どもたちが決めたまきまりを守ることができませんでした。しばらく様子を見ることになりました。②については、体育服は体育の授業で着るもの、ますます服装が乱れるかもしれない⇒体育服とは別にして着る。③普段の生活でシャツを入れられない人が多い。運動していないときもシャツを入れられない人が増え、身だしなみを整えられなくなるかもしれない。⇒暑い時には先生たちがシャツを出して運動するよう声をかける。④使い方によってはケガにつながる、授業に遅れる⇒プールのときには持ってきていいように先生たちで確認する。

今回、企画委員会、代表委員会で子どもたちから出た意見を聞いて、学校の様子をしっかりと見てくれていること、このままでは乱れる、いけないと思っている人たちが多く、みんなが安心して、学校生活を送れるようにしっかりと考えた考えを持ってくれていることがわかりとてもうれしく、誇らしく思います。

最後に、学校は、「学ぶ」場である。学校は勉強するところ、学校でしかできないこと、学校でしか学べないことがある、おしゃれをすることは勉強と関係ない、学校できまりを守ることは、社会に出てからもしっかりとルール（法律）を守ることができる人になるための練習の場である、学校は人間関係について学び、いろいろな人とのかかわり方、トラブルがあったときどう解決していくか学ぶ場である、という話を私からしました。あまりおしゃれに気を取られず、今だから学べること、今しか学べないことを学んでしっかり身に付けて、立派な人として成長してほしいと願います。

「考動力」＝「行動力」が身につけてきた・・・！？

2月のある日、朝から「校長先生いらっしゃいますか」保護者の方から学校に電話がありました。私は外であいさつに出ていたので、教頭先生が代わりに話を聞かれました。「麻生田公園で、4歳の子どもさんが行方がわからなくなって、とても心配していた時に、遊びに来ていた6年生男子児童が数名、一緒に一生懸命探してくれました。結局、子どもは自分で家に帰っていたので安心しましたが、麻生田小学校の子どもたちの行動力に感動しました。とても助かりました。」とお礼のお電話でした。ちゃんと学校の外で、その場で自分たちで判断して、行動していることに私たちにとってもうれしいお知らせでした。いい子たちです！

ほっこり姉妹 朝から

裏門で子どもたちの登校の出迎えに立っていると、いつもいっしょに手をつないで登校するSさん姉妹がいます。二人は昇降口が違います。裏門から入って、必ず二人でハグして「バイバイ！大好き！」と言って別れます。仲よし姉妹のその愛らしい姿にいつも心がほっこりします。素敵な光景に心が癒されます。

